

日本語教育能力検定試験 対策セミナー2016

「日本語教育で学んだことを自分の学びに活かそう！」

担当 福地俊夫

●注意事項

- 1 本気で合格したい人は今すぐこの瞬間から勉強を始めてください。
- 2 二重下線は検定頻出キーワードなので、帰宅したら、今日中に赤本のページを開いて確認してください。統計はウソをつきません。
- 3 福地のホームページは「福地俊夫」で、ブログは「yowaikamakiri」で検索できます。
- 4 ブログ内の検索機能で「検定」という言葉で検索すると、検定関連の内容が探せます。

●今回の内容

- I 試験の概略
- II トレードオフの関係
- III 学習法 一般論
- IV 学習法 具体論

I 試験の概略 (→資料)

- 1 日本語教育業界にいる限り、検定合格は常にプラスにしか評価されない。

- 2 23年試験内容改定 (←日本語教育の現場は一層の多様化、細分化)

(1)基礎項目が中心

(2)記述問題変更

「言語にかかわる事象」や「教育実践の方法・内容」などに対する考えや主張を問う (400字)。その伝え方を論理性と日本語力の面から測る。赤本 p.472

「日本語の乱れ」「ニーズ・レディネスに応じた教え方」「授業での言葉のゆれの取り上げ方」「初級クラスでのアクセントの取り上げ方」「レベル差のあるクラスでのグループ分け」「ディベートで自分の立場とは異なる立場で主張するのは苦痛という学習者がいた場合への対応」など。

- 3 試験当日の工夫

試験直前にもう一度
読み返そう。

- ・マークシート用に丸まった鉛筆
- ・マークミスが減らす工夫 (順番で埋める)

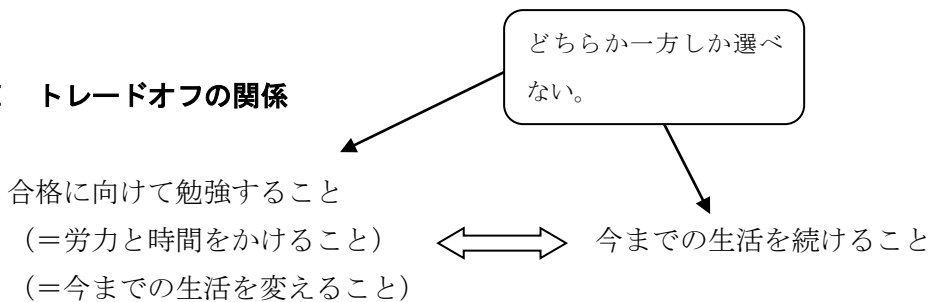
- ・当日の持参勉強資料は1週間前に作成を終了しておくこと
- ・低反発座布団
- ・腕時計（置時計不可）
- ・ウェットティッシュ（顔を拭いて気分転換など）
- ・ショール・膝掛（体温調整のため）
- ・試験場への道順・経路の確認
- ・昼食準備
- ・トイレ（待っているときに勉強）
- ・聴解試験中の雑音問題
- ・周りの受験生の癖（貧乏揺すり、ぶつぶつ言う人）
- ・願書の顔写真
- ・どの問題から始めるか、時間配分（記述はいつ？）

4 ごく一般的な学習スケジュール

過去問（6月）→基本用語・全体像確認・苦手分野意識（7月）→聴解対策（8月）→
 苦手分野克服（9月）→記述対策・解答時間意識・暗記モノ（10月）

※（なんだかよく分からない人）『完全攻略ガイド』「確認問題」（一問一答形式）から
 始めてみる→分からないときに赤本の当該部分を読み込むか、用語集を確認。その次に
 過去問など。

II トレードオフの関係



どこで学習するのか。一人暮らしでも外で学習。

現代人の三大浪費行動はテレビ・飲み会・ネットサーフィン！

思考は行動を変えない。行動・環境が思考を変える。

III 学習法 一般論

1 唯一絶対の教授法はない 赤本 p.161

同様に唯一絶対の学習法はない。

これで話が終わっ
 たら、ダメだろ！

手っ取り早く楽に合格する方法はあるか。

?

「効率的」な学習＝手っ取り早い楽な学習



勉強時間が少ないが成績の良い子どもの傾向は？

- ・ _____ 確かめながら勉強する。
- ・ _____ はどこかを考えて勉強する。
- ・ _____ 後に解き方や考え方を確かめる。
- ・ _____ 後にほかの解き方がないかを考える。

→メタ認知能力赤本 p.216,p.261

→ストラテジー能力赤本 p.203,p.216

自分だけのオリジナル誤答ノートを作ろう。

合格者：「キーワードを暗記しただけでは問題は解けない」

2 個人差の激しさ

(1)以下のキーワードを説明できますか？

破擦音／軟口蓋／プロミネンス／屈折語／発話媒介行為／メトニミー／クレオール／
パラ言語／高コンテクスト文化／中間言語／CALP／JSP／機能シラバス／スキヤニ
ング／ポートフォリオ／形成的評価／無意志動詞／瞬間動詞／モダリティー／呉音／
手続的知識／技能実習／山口喜一郎

(2)試験まで何日？

(3)試験まで _____ ？

(4)性格 → 自分を叱ること・自分を許すこと・自分と仲直りすること

- ・ 計画を立てられない。
- ・ 計画を立てても実行できない。
- ・ いろいろなことが頭に浮かんで集中できない.....

メタ認知

(5)授業を受けた科目・受けていない科目

(6)過去の経歴・専門性

(7)学習・教育に関わるビリーフ赤本 p.164,p.262

3 過去の事例

- ・過去問3年分だけ勉強した人
- ・鉢巻を締めて一番前の席で検定関連講座を受けた人
- ・前年度の合格体験記を読まなかった人
- ・願書受付の初日に願書を郵送した人
- ・福地の応援映像メッセージを見て俄然やる気が出た人
- ・福地の写真を試験会場に持って行った人

自分自身が合格する方法を！

4 新しい学習観赤本 p.161

(1)行動主義 →オーディオリンガル・メソッド赤本 p.168

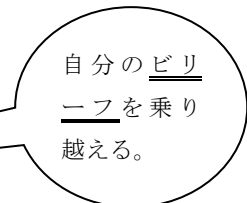
- ・学習の主体は教師であり、知識は、各個人で異なることなく、普遍的なもの。
- ・知識はドリルを通じた反復によって身につく。→パターン・プラクティス赤本 p.168

(2)認知主義 →関連項目をつなげる →前作業赤本 p.187

- ・学習の主体は学習者であり、知識を、学習者個人がそれぞれの脳内で構成。
- ・知識は、反復練習のような浅い情報処理ではなく、深い情報処理で、新規事項と
既有知識との関連づけによって身につく。

(3)構成主義 →社会に生きる自分との関連性

- ・知識は、学習者が社会的に活動するなかで構成するもの。
- ・他者や環境とのインターアクションを通じて、協同的に構築。



自分のビリーフを乗り越える。

教師自身が行動主義以外も取り入れてみる。

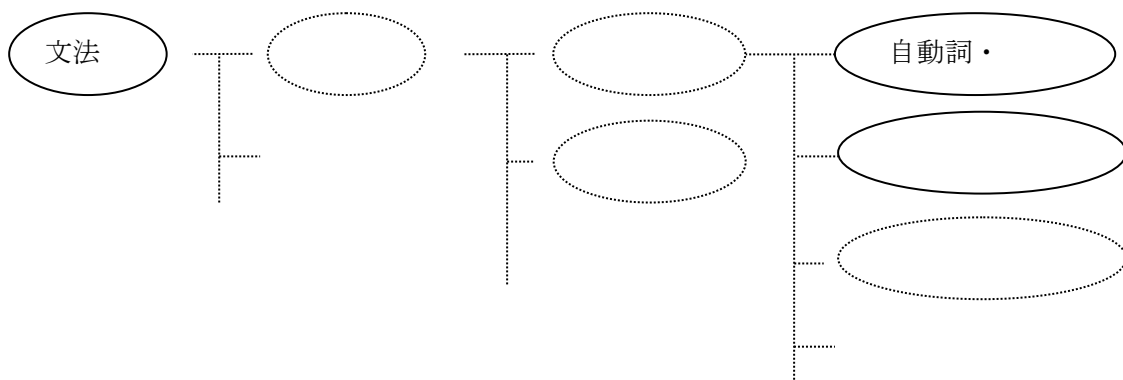
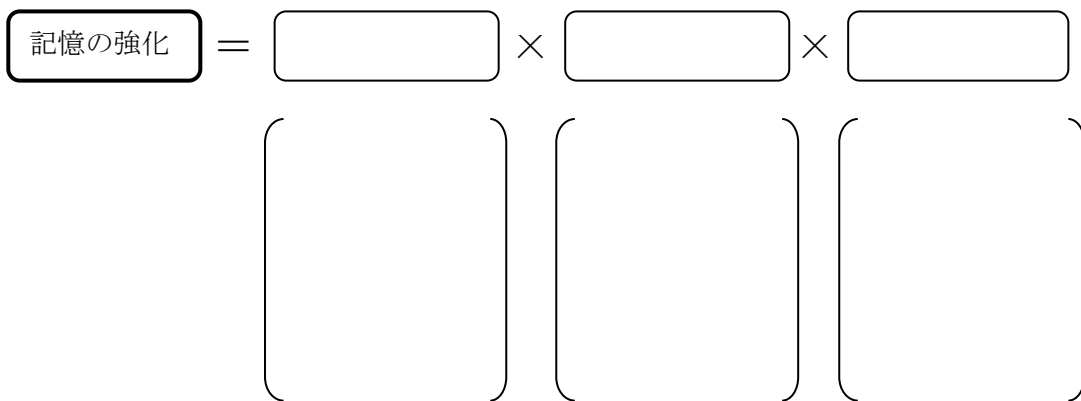
数学者・小平邦彦は大学院生に定理の証明を 20回書き写す宿題を出した。

5 理解のために

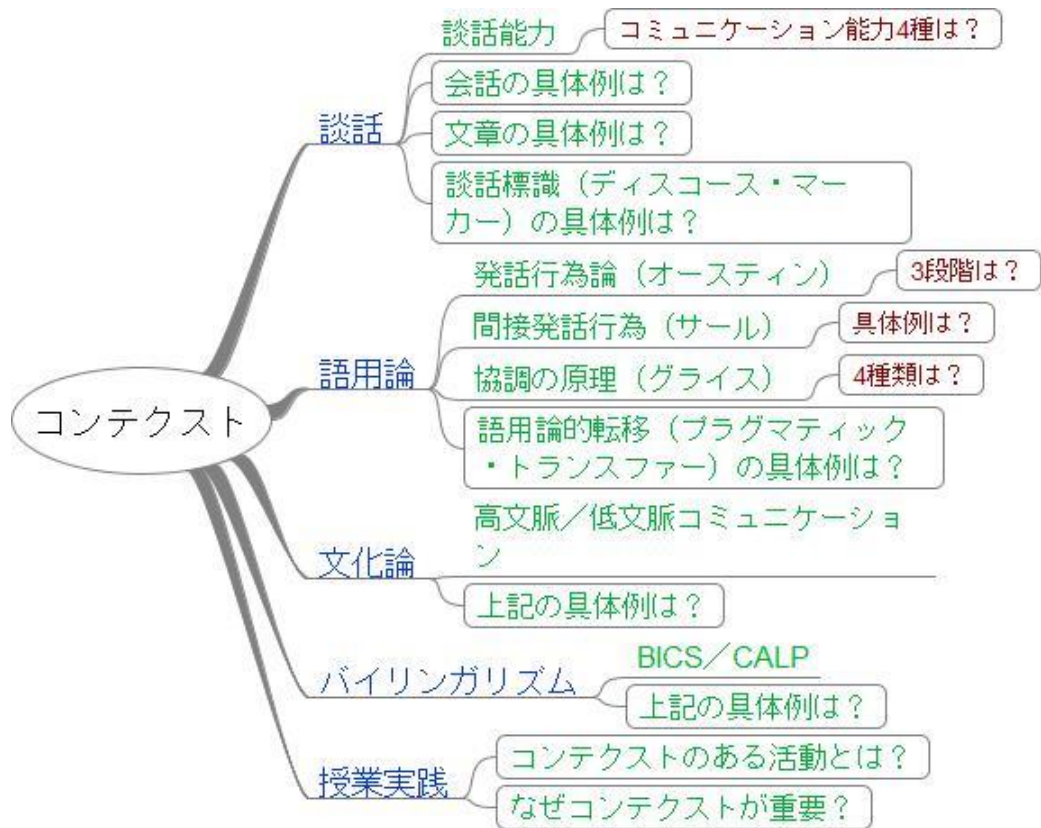
「理解」を「Can-do」赤本 p.184,p.308,p.370に変換する。
 本当に理解できたのか試す方法→他者に自分の言葉で説明できるか自問自答してみる。
具体例を挙げられるか。

アウトプットの重視 (アウトプット仮説赤本 p.268の応用)
大声を出して読む！ 自分の手で書いてみる！ (簡条書き・マインドマップ)
 「攻める勉強方法」だから、眠くならない。
ノートの工夫 (→参考図書)

6 記憶のために赤本 p.244



断片的な知識の暗記ではなく、「相互の関連性」と「自分にとっての意味」を意識すること。→「今学習していることは今まで学習した何と関連づいているのか」「今学習していることは自分にとってどんな意味があるのか」
 あるプロのドラママー：「俺は絶対練習しない。でも、探究はする」



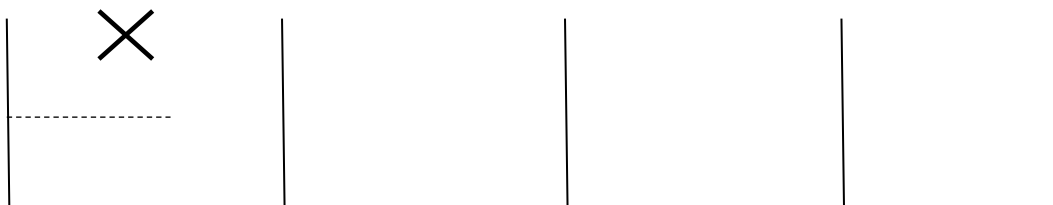
7 動機 → 情意ストラテジー 赤本 p.261

動機が高いときに、動機が低まったときの対策を。

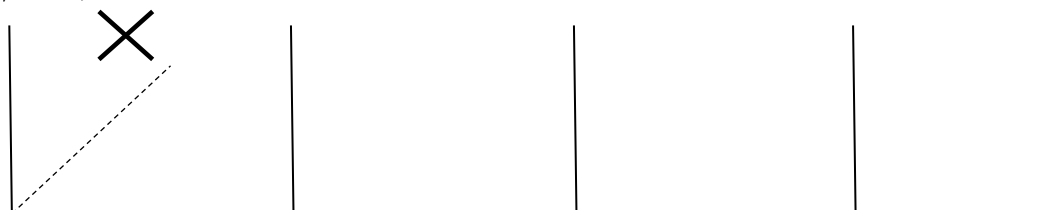
日本語教育から離れない工夫（興味を持てる関連書など）。→ 内発的動機 赤本 p.259

「初動」を抑え込む（←できる一步一步を確実に）。

心理のグラフ



成果のグラフ



IV 学習法 具体論

1 合格のための情報量

情報の選択と一元化 →オリジナルノート

(1)過去問 (含解説集)

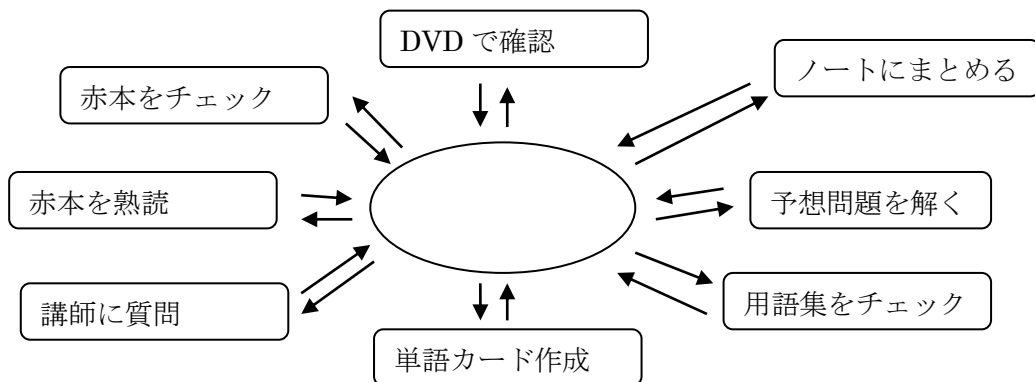
(2)赤本「重要」「★★★」の箇所を優先に。

(3)用語集

.....

2 過去問

まずゴール (=合格) を知ること、そしてゴールから今の自分の位置を捉える。道の長さ・険しさを自分が知ること。



※問題の解き方

一問入魂!

間違い探し【謙譲語】

1 拙著 2 弊社 3 愚息 4 拝借 5 小社

※心の声 →行動に焦点を当てるとスクリプト赤本 p.63

ぜんぜん、分からない..... 「謙譲語」は種類がいくつかあったような.....

選択肢は全部、自分のことを言うようだな。

3の「愚息」って言葉なんて聞いたことないよ。変な言葉だな。たぶん3が答えかな。

ええと、答えは.....4の「拝借」？ 間違った。

「謙譲語」って分かったようで分っていないんだよなあ。

解説には「拝借」が「謙譲語Ⅰ」で、それ以外は「謙譲語Ⅱ」と書いてるけど、なんかピンと来ない。

まずは、「愚息」の意味を辞書で調べておこう。ふむふむ。ま、今は使わないよな。

赤本の索引から、調べてみるか。「謙譲」は p.129 か。

「謙譲語Ⅰ」「謙譲語Ⅱ」の説明がある。

「謙譲語Ⅰ」は、「ご案内する」「申し上げる」などが例か。「謙譲語Ⅱ」は、「～いたす」「参る」か。何がどう違うんだろう。よく分からん。しかも、問題は名詞だからなあ。

p.130 に詳しい説明があるな。「謙譲語Ⅰ」は「話題の敬語」？ 「謙譲語Ⅱ」は「対話の敬語」？ 分からん。

用語集を調べてみるか。「謙譲語」は p.97 か。

なるほど、「話題の敬語」は、敬意を表される人がその場にいらなくてもいいのか。

「話題の敬語」は、「謙譲語Ⅰ」だから、さっきの例では「ご案内する」「申し上げる」か。

自分で例文を考えてみるか。例えば、その場にはいない人について使えるのだから、職場の先輩に対して、「昨日、社長をご案内しました」と言えるのかなあ。「謙譲語Ⅱ」の「対話の敬語」は、その場にいる人に使うのか。ということは、問題の「拝借」以外は、目の前にいる相手に対して、自分がへりくだっているわけだ。確かに、話している相手に「弊社では～」なんて使うな。

まだ、自信がないから、ネットで検索してみよう。

あ、なるほど、「母の家へ伺います」は言えないけど、「母の家へ参ります」は、OK ということか。この例文は分かりやすい。「参ります」は、自分の母を立てているわけではなく、話している相手に対して丁寧さを表しているということか。「空港へ伺います」は変だけど、「空港へ参ります」は言える。

ノートに整理しておこう。「謙譲語」は、過去問でも何度か出ていたから、重要に違いない。それから、「謙譲語」というと、動詞をなんとなくイメージしちゃうから、名詞も出るってことは押さえておかないと。

ついでに、敬語全体の分類も確認しておこう。なるほど、敬語は五つに分類されているのか。

……

……

3 重点科目

「日本語教育概論」「音声学」「文法」を優先に。ただし、関連性を大切に。

メタ認知

4 苦手科目の克服

なぜ苦手なのか、理由を 20 書いてみる（食わず嫌いなだけ?!）。
5 語程度のキーワードを完全に理解して他人に説明できるように。
大声で読んでみる。苦手箇所を書いてまとめてみる（→弱点ノート作成）。
通信・補講用 DVD を何度も視聴する。

Can-do

アウトプット仮説

5 聴解試験対策（→問題 4・5・6 は教授法・文法）

本当に時間と労力をかけているか。調音点・調音法・口腔断面図の納得。

合格者：「本気で取り組んでみたら、得意になっちゃった」。

自分で発音してみる。自分の口はいつでも使える最良の実験道具。

アクセントは「ド・ミ」「ハミング」で。赤本 p.421

「唇（両唇）は死刑（歯茎）、死刑（歯茎硬口蓋）は高校（硬口蓋）で難航（軟口蓋）、
正門（声門）で執行」。

「摩（摩擦音）擦（破擦音）は（破裂音）、鼻（鼻音）で弾（弾き音）く半（半母音）
魚人」。

「加賀は（カガワ）難攻（軟口蓋）」「火矢（ヒヤ）で後攻（硬口蓋）」「サザ（ン）只
（タダ）ナラ死刑（歯茎）」。赤本 p.403

6 記述試験対策

自分の手で書いてみて、自分の手で直すこと。

自己主張ではなく、マニュアル・報告書・手続きの説明のイメージを持つ。

問われていることに応える。

文章構成・使うべき表現の重視（問題中の言葉をそのまま使う）。

バランス（メリット・デメリット）、学習レベルの場合分け、条件付賛成・反対。

とっても大事！

7 検定関連講座の受け方

受ければ受けた分だけ必ず合格に近づく。

受けるか受けないかできるだけ早く決断せよ！

未習科目は、科目別セミナー、通信・補講用 DVD。

自分が合格するため
に必要なものは？

8 電子機器・文房具の有効利用

タイマー・ストップウォッチ

Anki（記憶カードアプリ）

フリーマインド（マインドマップ作成アプリ）

ボイスレコーダー（聴解対策・記憶）

VLC media player（0.03～4倍速再生アプリ）

ふざけた付箋紙・疲れしないシャープペンシル・マーク用シャープペンシル・滑らかなボールペン・A6カード

●参考図書等

○日本語教育

ヒューマンオリジナル解答解説集（過去3年間）

『日本語教育能力検定試験 完全攻略ガイド第3版』（通称：赤本）ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験用語集』ヒューマンアカデミー 翔泳社

『日本語教育能力検定試験に合格するための用語集』岩田一成他 アルク

『平成27年度日本語教育能力検定試験 試験問題』凡人社（平成15年度以前のは桐原書店発行）

『日本語教育能力検定試験 合格するための本 28年度版』アルク

『日本語教育能力検定試験 音声パーフェクト対策』猪塚元 猪塚恵美子 アルク

『日本人の知らない日本語』蛇蔵 海野凧子 メディアファクトリー

『もしも・・・あなたが外国人に「日本語を教える」としたら』荒川洋平 スリーエーネットワーク

○学習法・動機

『勉強法が変わる本』市川伸一 岩波ジュニア新書

『学習と教育の心理学』市川伸一 岩波書店

『「わかり方」の探求』佐伯胖 小学館

『のうだま やる気のコツ』上大岡トメ 池谷裕二 幻冬舎

『のうだま2 記憶力が年齢とともに衰えるなんてウソ!』上大岡トメ 池谷裕二 幻冬舎

○ノート作成

『ゼロ秒思考』赤羽雄二 ダイアモンド社

『100円ノート「超」メモ術』中公竹義 東洋経済新報社

『1本線ノート術』吉澤ゆか アスキー・メディアワークス

『勉強が楽しくなるノート術』トニー・ブザン ダイヤモンド社

○生活スタイル・自信

『「いつも忙しい」がなくなる心の習慣』水島広子 すばる舎

『キッパリ！たった5分で自分を変える方法』上大岡トメ 幻冬舎

『ダメな自分を救う本』石井裕之 祥伝社